

9

Capture

9 章 データ管理

データのメンテナンス	1
データ削除	1
食品置換	3
献立食種チェック	5
バックアップ設定	6
バックアップ	6
リストア	7
データ圧縮	7
献立データ配布	8
献立データ出力	8
献立データ取込	9

データのメンテナンス

データのバックアップや削除など、必要に応じてデータのメンテナンスを実施します。

1 データ削除

データ管理メニュー ⇒ データ削除

不要なデータを削除します。「ログ情報」を除く各データは、個別画面で削除することが出来ますが、当画面では、期間を指定し削除することが出来ます。必ずデータのバックアップを取ってから実行してください。

献立データの削除

1. 施設を選択します。
2. 左側の削除項目リストより、「献立データ」を選択します。
3. 対象とする[日付範囲]の開始日と終了日を入力します。
4. **実行[F1]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。**はい** をクリックします。



注意 「献立データ」の削除時に、同時に削除されるデータについて

この処理を実行すると、献立データ(献立控えを含む)のほか、同期間の料理別予定人数・料理別実施人数・発注データ・仕入データも削除されます。

発注データの削除

1. 施設を選択します。
2. 左側の削除項目リストより、「発注データ」を選択します。
3. 対象とする[日付範囲]の開始日と終了日を入力します。

4. **実行[F1]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。 **はい** をクリックします。



注意 「献立データ」の削除時に、同時に削除されるデータについて
この処理を実行すると、発注データのほか、同期間の仕入データも削除されます。

仕入データの削除

1. 施設を選択します。
2. 左側の削除項目リストより、「仕入データ」を選択します。
3. 対象とする[日付範囲]の開始日と終了日を入力します。
4. **実行[F1]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。 **はい** をクリックします。

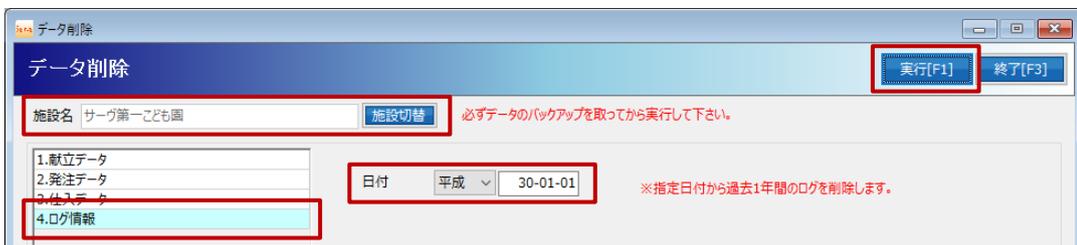


注意 「献立データ」の削除時に、同時に処理されるデータについて

この処理を実行すると、「仕入量に応じて献立の1人当たりの使用量を更新する」オプションを有効で、使用量が更新されている場合、献立登録時の使用量に初期化されます。

ログ情報の削除

1. 施設を選択します。
2. 左側の削除項目リストより、「ログ情報」を選択します。
3. [日付]を入力します。この日付から過去1年間のログが削除対象になります。
4. **実行[F1]** をクリックします。



補足) ログ情報とは

ログ情報とは、システムの動作履歴のことです。通常は削除する必要はありません。

2 食品置換

データ管理メニュー ⇒ 食品置換

料理マスタ または 献立で使用されている食品を一括置換します。

どちらの処理の場合も、栄養価の再計算を自動的に行います。併せて、最新の廃棄率に基づき、使用量の再計算を自動的に行います。

使用量の再計算の処理イメージ

「純使用量」はそのままで、「スナップえんどう」から「さやえんどう 若ざや、生」に置換する例です。

「さやえんどう 若ざや、生」は「廃棄率」が9%なので、「純使用量」は以下のように再計算されます。

食品名	廃棄率	純使用量	総使用量
置換前: 06022-00 スナップえんどう	5%	15.00 g	15.79 g
置換後: 06020-00 さやえんどう 若ざや、生	9%		16.48 g

食品を置換する

1. [施設名]を選択します。
2. [検索する食品]を指定します。
3. [置換後の食品]を指定します。
4. [再計算方法]を選択します。



食品置換

料理マスタまたは 献立で使用されている食品を一括置換します。

施設名 サグ第一こども園 施設切替

検索する食品 0602200 スナップえんどう 若ざや、生

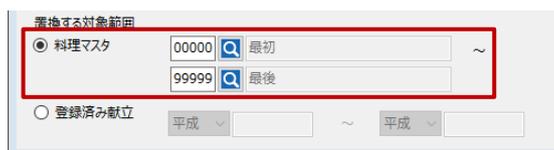
置換後の食品 0602000 さやえんどう 若ざや、生

再計算方法

「純使用量」はそのままで「総使用量」を変更

「総使用量」はそのままで「純使用量」を変更

5. [置換する対象範囲]を選択します。
「料理マスタ」を選択する場合、対象とする料理コード範囲の開始コードと終了コードを指定します。



置換する対象範囲

料理マスタ

00000 最初 ~

99999 最後

登録済み献立

平成 ~ 平成

「登録済み献立」を選択する場合、対象とする期間範囲の開始日と終了日を入力します。



置換する対象範囲

料理マスタ

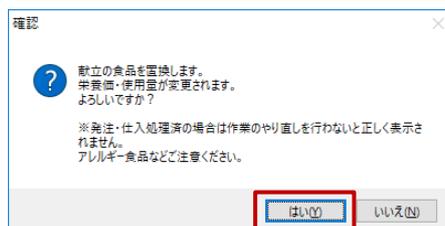
00000 最初 ~

99999 最後

登録済み献立

平成 30-01-01 月 ~ 平成 30-01-31

6. **実行[F1]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。 **はい** をクリックします。



確認

❓ 献立の食品を置換します。
単量・使用量が変更されます。
よろしいですか？

※注意・仕入処理済の場合は作業のやり直しを行わないと正しく表示されません。
アレルギー食品などご注意ください。

はい(Y) いいえ(N)

3 献立食種チェック

メインメニュー ⇒ 献立食種チェック

献立データの内部レコードをチェックし、不足分を追加します。

献立データ作成後、新たに食種を追加する場合は、必ずこの処理を実施してください。

不足する献立データレコードの処理イメージ

献立データを作成後に、食種:乳児を新たに追加する例です。

当処理前には、乳児の献立データは存在しないため、この不足分を追加します。

この際、使用量は「0」でセットされますので、必要に応じ、「献立登録」画面で使用量を入力してください。

食種名	処理前	処理後
3歳以上児	献立データあり	献立データあり
3歳未満児	献立データあり	献立データあり
乳児 (← 献立作成後に新たに追加)		献立データ追加(使用量 0g)
職員	献立データあり	献立データあり

献立データをチェックし、不足データを追加する

1. [施設]を選択します。
2. 対象とする[期間]の開始日と終了日を入力します。

3. **実行[F1]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。 **はい** をクリックします。

4 バックアップ設定

メインメニュー ⇒ バックアップ設定

システムデータをバックアップするための詳細設定を行います。

バックアップの詳細設定をする

1. **参照** をクリックし、バックアップファイルの[保存先]を指定します。
2. バックアップファイルの[ファイル名]を入力します。
3. [ファイル分割]は、バックアップファイルを分割して保存「しない」または「する」の何れかを選択します。
バックアップ先の容量が大きな媒体の場合(HDD や USB フラッシュメモリ等)は「しない」を、MO や FD のなどバックアップファイルが1枚に収まらない場合は「する」を選択します。
4. [履歴数制限]は、「しない」または「する」の何れかを選択します。「する」を選択した場合、回数を指定します。
5. **登録[F1]** をクリックします。



重要 バックアップファイルの保存先について

パソコンの内蔵 HDD にバックアップファイルを保存すると、パソコン本体が故障した際、データ復旧することができなくなる恐れがあります。バックアップ先は、ネットワークファイルサーバーや USB フラッシュメモリなど、外部メディアを指定することをおすすめします。

5 バックアップ

メインメニュー ⇒ バックアップ

バックアップはパソコン本体等、データ記憶域が壊れてしまった場合にとっても重要なものです。定期的にバックアップをお取りください。

バックアップする

1. 確認メッセージが表示されます。 **OK** をクリックします。



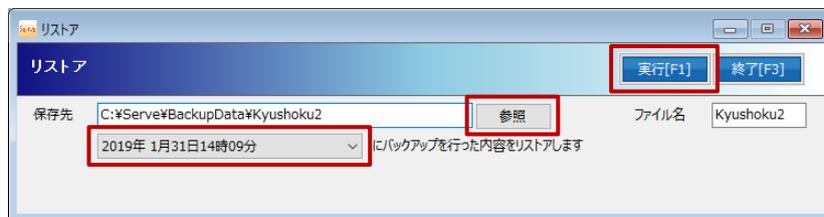
6 リストア

メインメニュー ⇒ リストア

バックアップしたデータに戻したい場合に使用します。既存のデータは全て消去されます。実行前に当社にご相談ください。
 ※当処理の実行前には、必ずデータのバックアップをお取りください。

リストアする

1. [保存先]は、バックアップファイルが保存されている場所を指定します。
2. [保存先]の下、ドロップダウンリストより、バックアップ日時(どの時点のバックアップデータに戻すか)を選択します。
3. **実行[F1]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。 **OK** をクリックします。



7 データ圧縮

メインメニュー ⇒ データ圧縮

システムを使用していると、ファイルのサイズが大きくなります。このファイルを圧縮し、サイズを最適化することにより、ファイルが破損するなどの問題を防ぐ効果があります。

ネットワーク使用の場合は他の端末を終了し、バックアップ後に実行してください。

データを圧縮する

1. **実行[F1]** をクリックします。



献立データ配布

複数施設でシステムをご利用の場合、その施設間で献立データを配布・受け取ることができます。

配布する側(「A 施設」として解説します) → 「献立データ出力」を行います。

配布されたデータを受け取る側(「B 施設」として解説します) → 「献立データ取込」を行います。



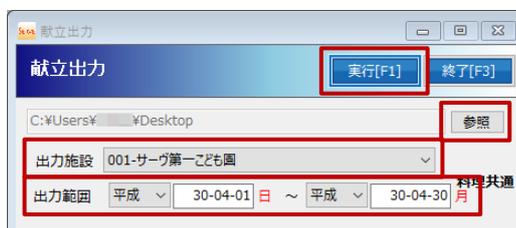
1 献立データ出力

データ管理メニュー ⇒ 献立データ出力

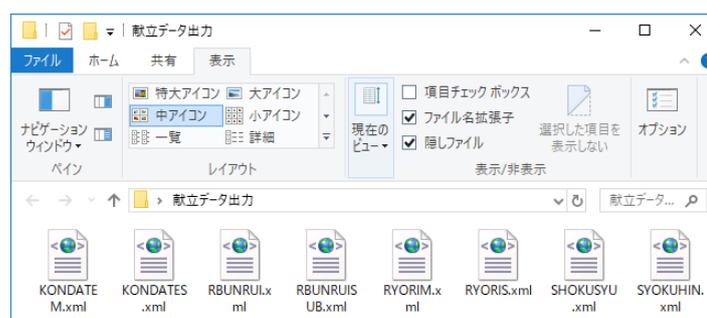
配布する側(A 施設)で行う操作です。指定した期間の献立データを外部出力します。

配布用に献立データを出力する

1. **参照** をクリックし、バックアップファイルの[保存先]を指定します。
2. [出力施設]を選択します。(配布元となる施設を選択します)
3. 対象とする[出力範囲]の開始日および終了日を入力します。
4. **実行[F1]** をクリックします。



5. 確認メッセージが表示されます。**OK** をクリックします。
1.で指定した場所に「献立データ出力」フォルダが作成され、ファイルが保存されます(8 ファイル)。



2 献立データ取込

データ管理メニュー ⇒ 献立データ取込

配布されたデータを受け取る側(B 施設)で行う操作です。 外部出力した献立データを取り込みます。

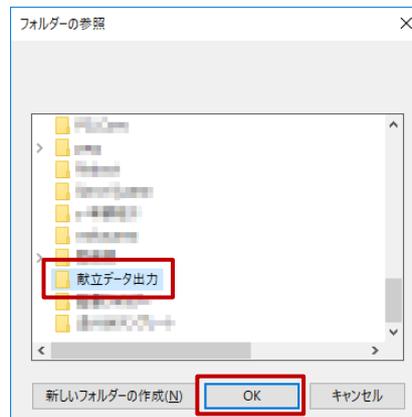
取込期間範囲内の献立に含まれる「料理マスタ」「食品マスタ」「料理分類マスタ(全て)」も同時に取込まれます。

※ 同日の献立データは上書きされるため、内容は失われます。

※ 人数(食事区分別・料理別)も削除されますので、取込完了後は人数情報を登録する必要があります。

配布された献立データを取り込む

1. **参照** をクリックし、バックアップファイルの[保存先]を指定します。「献立データ出力」フォルダを選択します。



2. [出力施設]を選択します。(配布元となる施設を選択します)
3. [取込可能期間]が表示されますので、[取込期間]の開始日と終了日を入力します。(全期間または一部の期間)



4. 上書きオプション、取込オプションを選択します。

食品マスタ 食品成分表データ上書きオプション

- 上書きしない (ご使用の成分値を引き続き使用する)
- 配布元データの食品名・成分値を使用する
- 配布元データの食品名・成分値 (廃棄率除く) を使用する

料理マスタ取込オプション 配布元の食種を選択しない場合

- 使用量を0として登録する
- 基準食種の使用量×登録している複写率で登録する

献立取込オプション 配布元の食種を選択しない場合

- 使用量を0として登録する
- 基準食種の使用量×登録している複写率で登録する



補足 食品マスタ「食品成分表」掲載食品データ上書きオプション について

献立データを取り込む際、取込先の食品マスタのうち、「食品成分表」に掲載されている食品マスタをどのように取り扱うか選択します。

ユーザー追加食品は、取込先の食品マスタ内に同じコードで存在している場合、配布元データの内容で上書きされますので、ご注意ください。

食品マスタ 食品成分表データ上書きオプション

- 上書きしない (ご使用の成分値を引き続き使用する)
- 配布元データの食品名・成分値を使用する
- 配布元データの食品名・成分値 (廃棄率除く) を使用する

「食品成分表」に掲載されている食品について、「配布元」と「取込先」の設定が異なる食品がある例です。

配布元			取込先 取込前の状態		
食品名	エネルギー	廃棄率	食品名	エネルギー	廃棄率
じゃがいも 塊茎 生	76kcal	10%	じゃがいも	70kcal	15%

取込先 取込結果			
オプション	食品名	エネルギー	廃棄率
上書きしない	じゃがいも	70kcal	15%
配布元データの食品名・成分値(廃棄率含む)を使用する	じゃがいも 塊茎 生	76kcal	10%
配布元データの食品名・成分値(廃棄率除く)を使用する	じゃがいも 塊茎 生	76kcal	15%

ユーザー追加食品について、「配布元」と「取込先」の設定が異なる食品がある例です。

配布元			取込先 取込前の状態		
食品名	エネルギー	廃棄率	食品名	エネルギー	廃棄率
18701:おさかなハンバーグ	250kcal	0%	18701:エビフライ	338kcal	5%

↓

取込先 取込結果		
食品名	エネルギー	廃棄率
18701:おさかなハンバーグ	250kcal	0%

上書きオプションは、食品成分表に掲載されている食品に対して有効ですが、ユーザー自身が追加した食品は、取込先に同一コードの食品が存在する場合、上書きされますので、注意が必要です。



補足 料理マスタ および 献立データ取込オプション について

配布元と取込先の食種を紐付けしない食種がある場合、紐付けされていない食種の使用量(料理マスタおよび献立)をどのようにセットするか、オプションで選択する必要があります。

(全ての食種が紐付けされている場合は、どのオプションが選択されていても影響はありません)

- | | |
|--------------|---|
| 料理マスタ取込オプション | 配布元の食種を選択しない場合 |
| | <input checked="" type="radio"/> 使用量をもとして登録する |
| | <input type="radio"/> 基準食種の使用量×登録している複写率で登録する |
| 献立取込オプション | 配布元の食種を選択しない場合 |
| | <input checked="" type="radio"/> 使用量をもとして登録する |
| | <input type="radio"/> 基準食種の使用量×登録している複写率で登録する |

以下は、配布元データに「乳児」の食種がない例です。

配布元			
料理名・食品名	以上児	未満児	職員
しらすごはん			
水稻穀粒 精白米 うるち米	40.00	30.00	40.00
しらす干し 微乾燥品	2.00	1.50	2.00

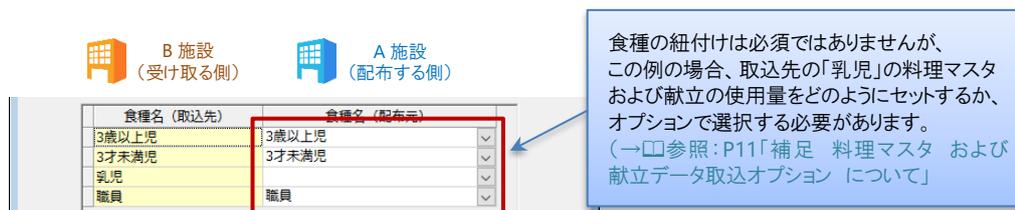
取込先に「乳児」の食種があります。

「乳児」に対して食種の紐付けを行わなかった場合、オプション分岐の結果、以下の通りになります。

取込先 取込結果					
オプション	食品名	以上児	未満児	乳児	職員
使用量をもとして登録する	しらすごはん				
	水稻穀粒 精白米 うるち米	40.00	30.00	0.00	40.00
	しらす干し 微乾燥品	2.00	1.50	0.00	2.00
基準食種の使用量×登録している複写率で登録する	しらすごはん				
	水稻穀粒 精白米 うるち米	40.00	30.00	10.00	40.00
	しらす干し 微乾燥品	2.00	1.50	0.50	2.00

※「食種設定」で「乳児」の複写率 25%で設定した例

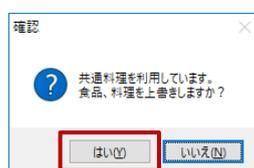
5. 「取込先」と「配布元」の食種を紐付けします。
「食種名(配布元)」のドロップダウンリストをクリックし、「食種名(取込先)」と紐付けたい食種を選択します。



6. をクリックします。



「共通料理マスタで運用」している場合、下図のメッセージが表示されます。



取込先に複数の施設が存在する場合は、2 施設目より食品マスタおよび料理マスタの上書き(取込処理)を任意でスキップすることが可能です。

例えば、A 施設の献立データを、B 施設のパソコンで B 施設分(1 施設目)、C 施設分(2 施設目)に取り込む場合、B 施設の献立データ取込時は をクリックし、食品マスタおよび料理マスタの上書きします。C 施設の献立データ取込時は をクリックし、上書き処理をスキップすることができます。

- 献立データ取込作業が 1 施設の場合は、必ず上書き(食品マスタおよび料理マスタの取込処理)します。
- 献立データ取込作業が 2 施設目以降の場合、スキップすることができます。

7. <食品マスタおよび料理マスタの上書きをした場合のみ>

「食品マスタ対比確認」画面が表示されます。 取込後の結果イメージを確認します。

新規追加 または 名称に差異がある食品は、ハイライト表示でお知らせします。 **次へ** をクリックします。

食品コード	校番	使用食品名	食品名 (取込後)
01016	00	薄力粉 2等	薄力粉 2等
01024	00	小麦粉 プレミックス粉 ホット	小麦粉 プレミックス粉 ホット
01026	00	食パン 市販品	食パン 市販品
01039	00	うどん ゆで	うどん ゆで
01043	00	そうめん・ひやむぎ 乾	そうめん・ひやむぎ 乾
01048	00	中華めん ゆで	中華めん ゆで
01063	00	マカロニ・スパゲッティ 乾	マカロニ・スパゲッティ 乾
01068	00	焼きふ 車ふ	焼きふ 車ふ
01079	00	パン粉 乾燥	パン粉 乾燥
01120	00	白玉粉	白玉粉
01702	00	サラシ	サラシ
02004	00	生いもこんにやく	生いもこんにやく
02005	00	しらたき	しらたき
02006	00	さつまいも 塊根、生	さつまいも 塊根、生
02017	00	じゃがいも 塊茎、生	じゃがいも 塊茎、生
02030	00	フライドポテト	フライドポテト
02034	00	片栗粉	じゃがいもでん粉
02059	00	緑豆はるごめ 乾	緑豆はるごめ 乾
03003	00	上白糖	上白糖

「片栗粉」が「じゃがいもでん粉」に変更されます。

8. <食品マスタおよび料理マスタの上書きをした場合のみ>

「料理分類マスタ対比確認」画面が表示されます。 取込後の結果イメージを確認します。

新規追加 または 名称に差異がある料理分類は、ハイライト表示でお知らせします。 **次へ** をクリックします。

取込前		取込後	
大分類	小分類	大分類	小分類
季節の料理	春	季節の料理	春
	夏		夏
	秋		秋
	冬		冬
料理分類 II	新規登録	料理形態別	主食・ごはん
	新規登録		主食・パン
			主食・麺

大分類名称「料理分類 II」が「料理形態別」に変更されます。

「主食・ごはん」などの小分類が新規追加されます。

9. <食品マスタおよび料理マスタの上書きをした場合のみ>

「料理マスタ対比確認」画面が表示されます。 取込後の結果イメージを確認します。

新規追加 または 名称に差異がある料理は、ハイライト表示でお知らせします。 **次へ** をクリックします。

料理コード	校番	使用料理名	料理名 (取込後)
10003	00	ケチャップ和え	ケチャップ和え
10009	00	麻婆春雨	麻婆春雨
10011	00	マカロニシチュー	マカロニシチュー
10015	00	鶏のから揚げ	鶏のから揚げ
10020	00	肉入り五目野菜炒め	肉入り五目野菜炒め
10021	00	メンチカツ	メンチカツ
10027	00	串だし	串だし
10028	00	福神漬	福神漬
10032	00	フランクフルト	フランクフルト
10040	00	ポーカハヤシ	ポーカハヤシ
10044	00	ハンバーグ	ハンバーグ
10068	00	新規登録	さつまいものシチュー
10070	00	かぼちゃのクリーム	かぼちゃのクリーム
10095	00	ひき肉野菜カレー	ひき肉野菜カレー
10122	00	春巻き	春巻き
10127	00	かに玉風オムレツ	オムレツ
10157	00	煮卵	煮卵
13006	00	ずっぱりC a 鉄	ずっぱりC a 鉄

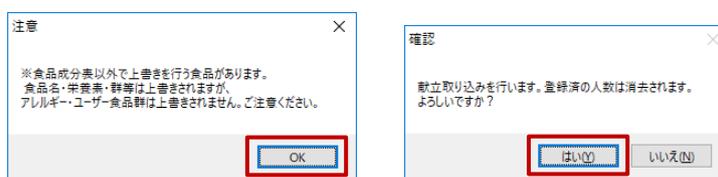
「さつまいものシチュー」が新規追加されます。

「かに玉風オムレツ」が「オムレツ」に変更されます。

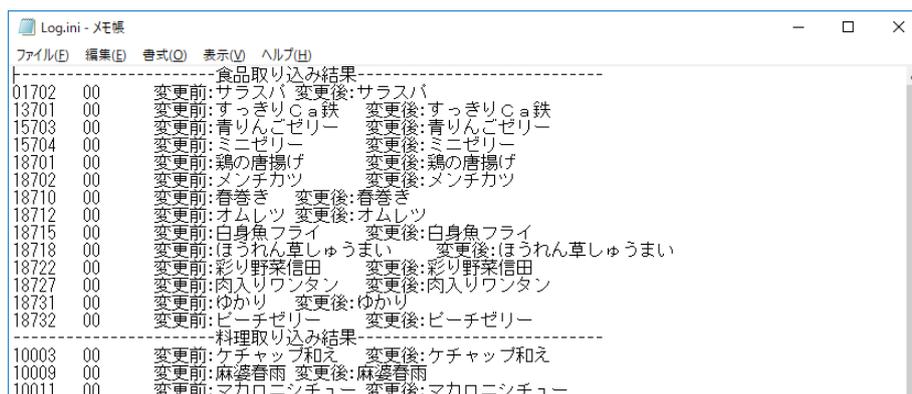
10. 「登録済み献立確認」画面が表示されます。 献立データの有無を確認します。
 取込先に献立が登録されている日は「データ有」表示でお知らせします。
 ※ これらのデータは上書きされますのでご注意ください。



11. **実行[F1]** をクリックします。 確認メッセージが表示されます。 **OK** → **はい** をクリックします。



12. 処理が完了するとログファイルが表示されます。内容をご確認いただけます。(ご確認後、画面は閉じてください)



13. 「人数登録」画面より、食事区別人数 および 料理別人数 を登録します。

